

# 立花生徒会新聞

## Trefleの通信

### 新学期について

八月二十六日から新学期が始まり、約一ヶ月が経過しています。

二週間前に一年生は宿泊学習が、二年生はトライヤール・ウィークがありました。また、クラスでは専門委員や教科係が決まりました。自分が担当する委員会、係の仕事に責任を持ってクラスのため学校のために活動していきましょう。そして、十月二十四日に学年合唱コンクール、二十六日には文化発表会があります。そのため、音楽の授業では合唱コンクールに向けて課題曲、自由曲の練習が始まっています。クラス全員で協力し、一回一回の授業や十月から始まる合唱練習を大切にしましょう。

自動車でカー・ホンダの創業者である本田宗一郎さんは「時間だけは神様が平等に与えて下さった。これをいかに有効に使うかはその人の才覚であって、上手く利用した人がこの世の中の成功者なんだ」という言葉を残しました。この言葉には、時間さえ有効に使えば、今自分が置かれていく状況や環境などに関係なく、成功者になれるという

意味が含まれています。つまり、誰にでも成功することができると言えます。これは、勉強やクラブ活動など、学校生活の中でも同じではないでしょうか。例えば、何もせず過している時間よりも自分の好きなことやしたいことに没頭する時間の方が良いと思います。なので、二学期では何か自分が没頭できること、やってみたいことに時間をかけてみてはどうでしょうか。きっと自分の力になると思います。

また、三年生は高校入試に向けて日々、勉強に励んでいると思います。先ほど言ったように全員に与えられている時間は同じです。「後でしよう」「明日しよう」と思っているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。今を大切に、勉強に励んでいきましょう。ですが、二学期には文化発表会や合唱コンクールなどクラスで盛り上げる行事があります。勉強だけの毎日よりも、時には楽しむことも大切ですよ。楽しむ時は楽しむ、勉強するときは勉強するなどのメリハリをつけ二学期を過ごしていきましょう。

### 宿泊学習

一年生は今日の十三日、十四日に一泊二日の宿泊学習がありました。宿泊学習では、たくさん取り組みを通してクラスや学年の仲間と協力し合うことの大切さを学び、さらに絆を深めることができたと思います。また、自然豊かな場所で普段はできない貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

学年の仲間たちと食事や睡眠を共にすることはもちろん、班別行動では、協力し合わなければならぬことも多くあったことでしょう。カレー作りでは、班の中で役割を決め、自分自身で仕事を責任を持って行うことができたでしょう。普段は家に炊飯器があるので簡単にご飯を炊くことができますが、班の仲間と協力しながらご飯を炊くことができたこと、自分たちの力で電気を使わず、ご飯を炊くことの大変さを

感じることもできたのではないのでしょうか。仲間と協力して作ったカレーはとても美味しく、共に楽しむ時間も過ごせたことでしょうか。このような活動を通して、自分の行動に責任を持つ大切さに気づくことができました。

そして、片付けをするまでがカレー作りです。普段の生活では、食後の食器洗いや片付けは親が行っているのですが、改めて行ってみると、改めて思えてくると思います。今はまだ親の力をかりながら生活していますが、宿泊学習を通して自分たちの力で、でき

ることがこんなにあることを実感したのではないのでしょうか。今回の宿泊学習を機にこれからは親に全て任せられるのではなく、自分でできることは自分でできるように成長にも繋がると思っています。

そして、友達と初めて泊まったことで友達の優しいところや良いところをたくさん見つけることができたと思います。私自身、先生や友達や家族の大切さ、自然のありがたさなどたくさん学べることができました。

二日間、充実した日々を過ごす中でたくさん思っています。出を作ることができたと思います。宿泊学習で学んだことを活かして、これからある学校行事や普段の学校生活に繋げていこうと思います。

二日間、実際に災害が起こったときどのような行動をすればよいか三つ紹介いたします。まず一つ目は、災害時の放送をよく聞くことです。この放送は地震や火事などを知らせ、火事が起こった際にはどこで起きているかを知らせます。放送では重要なことを伝えていくので聞き逃さないようにしましょう。

二つ目は、地震が起こった時はすぐに机の下で身を隠すことです。机の下で身を隠すことで逃げる際にも時計や電気などの危ないものが落ちてくることもないので、頭を守るために分厚



今日、避難訓練が行われました。

みなさんは避難訓練の大切さを理解していますか。六月十八日に大阪を震源とする強い地震が起こり、近畿地方に多くの被害をもたらした大雨もありました。また、近年では南海トラフ地震が起ると予想されています。このような時にみなさんは、冷静な判断をすることができているでしょうか。冷静な判断ができないと命を落とす可能性があります。また、地震や大雨の時には、みなさんは登校中だったと思います。近くに大人がいなくても、冷静な判断をするために今回の避難訓練を真剣に取り組みしましょう。

では、実際に災害が起こったときにどのような行動をすればよいか三つ紹介いたします。まず一つ目は、災害時の放送をよく聞くことです。この放送は地震や火事などを知らせ、火事が起こった際にはどこで起きているかを知らせます。放送では重要なことを伝えていくので聞き逃さないようにしましょう。

二つ目は、地震が起こった時はすぐに机の下で身を隠すことです。机の下で身を隠すことで逃げる際にも時計や電気などの危ないものが落ちてくることもないので、頭を守るために分厚

### 避難訓練

最後に三つ目は「おはしも」を守ることです。みなさんは「おはしも」の意味を覚えていますか。「おは」は押さない、「は」は走らない、「しも」は戻らないという意味があります。特にしゃべらないのは、地震や火災などの際にはパニックになりどうしても喋ってしまうことがあります。そんな時は冷静に判断や行動ができないので落ち着いて指示を聞きましょう。

避難訓練は実際の災害時のために練習する機会です。ここでの練習をおさかにしてしまえば、実際の災害の時に想定外なことがたくさん起こります。今回紹介した三つのことを意識して災害時と同じ心持ちで避難訓練に取り組みしましょう。

小売販売店、小学校、消防・自衛、公共機関、接客など多くの事業所にお世話になりました。トライヤールの前週の台風で停電や断水などの被害を受けた事業所もあり、普段より業務が忙しい中、各事業所の方々には私たちに職場体験をする機会を設けてくださいました。他県でも職場体験学習をしているところもあります。トライヤールのウィークが実施されているのは兵庫県だけです。初めての職場体験で緊張したこともありますが、この五日間で学んだことを忘れずこれからの学校生活に繋げていきましょう。

今年度のトライヤールでは

今年度のトライヤールでは

### トライヤール

今月の十日から十四日までの五日間、二年生はトライヤールに参加しました。みなさんはこのトライヤールがなぜ始まったのか知っていますか。トライヤールは兵庫県で平成七年の阪神・淡路大震災、平成九年の神戸連続児童殺傷事件を機に中学生に働く場を見せようという趣旨から、県内の中学二年生を対象として平成十年から実施されている職場体験です。

また、立花中学校のトライヤールを実施する上での目的は、この機会を通して働くことの大切さや厳しさを体験し、達成感を味わうことで強く生きる生徒を育てることや、社会生活上のルールを身に付けることにも、自分の適性を知り、進路を正しく考える生徒を育てることです。その他にも、人に優しく関わる力を育てることを目的に行われてい

ます。

今年度のトライヤールでは

### 編集後記

課題テスト、実力テストお疲れ様でした。来週に中間テストがありますが「宿題だけやって、あとはテスト前に勉強すればいい」と思っているいませんか。勉強は毎日する必要があります。これに定着していきましょう。これを機に、勉強方法の改善を試してみよう。どうでしょうか。(山崎・今村・西村・上杉)

今年度のトライヤールでは